

令和6年度当初予算案 歳出(教育委員会)

(単位:千円)

款	項	令和6年度 当初予算案	令和5年度 7月補正後 予算額	差引増減
3 福祉生活費	2 児童福祉費	26,485	26,404	81
10 教育費	1 教育総務費	6,732,617	6,610,111	122,506
	2 小学校費	36,916,399	35,101,693	1,814,706
	3 中学校費	22,979,057	21,417,050	1,562,007
	4 高等学校費	33,666,706	27,934,694	5,732,012
	5 特別支援教育費	11,817,518	11,421,320	396,198
	7 社会教育費	2,090,375	2,562,118	△ 471,743
	8 保健体育費	1,544,162	1,326,842	217,320
11 災害復旧費	4 県立学校施設 災害復旧費	100,000	110,000	△ 10,000
教育委員会 計		115,873,319	106,510,232	9,363,087 (+8.8%)
	うち事業費	構成比 (18.5%) 金額 21,438,169	(17.1%) 18,181,788	(+17.9%) 3,256,381
	うち人件費	構成比 (81.5%) 金額 94,435,150	(82.9%) 88,328,444	(+6.9%) 6,106,706

令和6年度当初予算案の概要(教育委員会関係)

(単位:千円)

事業名	6年度 当初予算案	5年度 7月補正後予算額	事業概要	所管課
1 特 県立学校給食費無償化事業	36,323	0	保護者の経済的負担を軽減するため、給食を実施する県立学校において、給食費を無償化する。 ・特別支援学校、定時制高校、盲学校、聾学校及び豊府中学校	体育保健課
2 特別支援教育振興事業	11,481	10,021	特別支援学校の教育の充実を図るため、教員の指導力を向上させるとともに、医療的ケアの実施体制を整備する。 【特】医療的ケアが必要な児童生徒の宿泊学習への支援 など	特別支援教育課
3 日本語指導ステップアップ事業	22,236	12,174	帰国・外国人児童生徒等に対する日本語指導の充実を図るため、小・中・高等学校に日本語指導支援員及びアドバイザーを派遣する。 【特】日本語指導支援員の拡充(総派遣時間4,880時間→8,920時間) 【特】高校生の進路支援等を行う母語支援員の派遣	人権教育・部落差別解消推進課
4 特 宇佐・国東歴史文化魅力発信事業	12,133	0	文化財の保存・活用を推進し、訪日外国人等の誘客を図るため、歴史博物館において宇佐神宮創建1300年を契機とした企画展を開催する。	文化課
5 特 世界に羽ばたくアスリート強化事業	20,000	0	トップアスリートの競技力向上を図るため、日本代表候補選手の国際大会出場に要する経費に対し助成する。 ・補助率 3/4 限度額 50万円	体育保健課
6 全国高校総体開催事業	269,287	49,038	北部九州4県(大分県、福岡県、佐賀県、長崎県)で合同開催する全国高等学校総合体育大会の9種目10競技を開催する。 ・県内開催 水泳(飛込・水球)、バレーボール、相撲、柔道、剣道、テニス、自転車(ロードレース)、なぎなた、カヌー	体育保健課
7 未来を創る学力向上支援事業	709,808	837,510	小・中学校での学力向上を図るため、客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し、組織的な授業改善に取り組む市町村に対し、小学校教科担任制における専科教員等を配置する。 基礎・基本の定着に加え、活用力を把握するため、学力定着状況調査(小5及び中2)を実施する。 【特】小・中学校を対象としたAPU留学生との交流授業の実施 など	義務教育課
8 特 遠隔教育システム構築事業	100,855	0	どの地域においても生徒の可能性を最大限に伸ばし、多様で質の高い高校教育を提供するため、遠隔教育システムの整備等を行う。 ・令和7年度開始に向けた遠隔授業配信センターの整備(英語、数学など) ・専門科目を実施する学校から地域の学校に遠隔授業を配信(土木、商業など)	高校教育課
9 県立高校未来創生事業	70,473	42,655	今後の社会に求められる人材を育成するため、県立高校の学科改編等に対応した新たな授業展開等に取り組むとともに、全国募集やコミュニティ・スクールの取組を推進する。 【特】企業等と連携した最先端技術を取り入れた講座の実施(情報科学高校) 【特】土人材の確保・育成を図る環境整備の実施(大分工業高校) など	高校教育課
10 新時代の学びを支えるICT活用推進事業	337,834	216,316	ICTを効果的に活用した授業改善を図るため、ICT教育サポーターを育成・派遣するプラットフォームや、優良授業事例等を閲覧できるポータルサイトを運営するほか、県立学校のICT機器を整備する。 【特】児童生徒が学習用端末を安定して利用できるネットワークの整備	教育デジタル改革室
11 いじめ・不登校等対策事業	102,147	81,050	いじめや不登校等を未然に防止するとともに、早期解決や長期的支援を行うため、教育相談体制を強化するほか、ICT等を活用した取組を実施する。 【特】校内教育支援ルームで学習支援等を行う登校支援員の増員(35人→48人) 【特】フリースクールでのICT学習支援ツールの活用 【特】1人1台端末を活用した「心の健康観察」の導入 など	学校安全・安心支援課
12 子ども科学体験推進事業	40,067	42,179	小・中学生の科学に関する好奇心や探究心を育むため、学習機能を持った「体験型子ども科学館O-Labo(オーラボ)」を運営し、企業・大学・高校と連携した科学体験講座を実施する。 ・科学体験講座を開催するサテライトラボ(地域拠点)の実施 【特】科学や先端技術への興味関心が特に高い子どもを対象とした講座の開設	社会教育課
13 学校部活動改革サポート事業	74,896	51,207	教員の部活動指導の負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、部活動指導員を配置するとともに、総合型地域スポーツクラブ等と連携し、部活動の地域移行等に取り組む。 ・部活動指導員 145人(公立中学校129人、県立高校16人) 【特】各市町村におけるコーディネータを活用したモデル事業の導入支援 など	体育保健課
14 文化部活動改革推進事業	21,535	7,779	教員の部活動指導の負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、部活動指導員を配置するとともに、文化団体等と連携し、部活動の地域移行等に取り組む。 ・部活動指導員 32人(公立中学校26人、県立高校6人) 【特】各市町村におけるモデル事業の導入・展開支援	文化課
15 県立学校施設整備事業	5,126,839	4,087,778	教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎等の新增改築・大規模改造など県立学校の施設や設備の整備を行う。 ・第三次特別支援計画に基づく施設整備(別府地区南石垣支援学校の移転等) ・大規模改造(大分上野丘高校など4校) 【新】県立学校体育館の空調設備整備(新生支援学校など22校) 〔債務負担行為 1,415,818千円〕	教育財務課

※ 新 は「新規事業」、特 は「新おいた創造挑戦事業」